

船舶インシデント調査報告書

平成28年3月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

インシデント種類	運航不能（機関故障）
発生日時	平成26年11月30日 13時20分ごろ
発生場所	高知県土佐市白ノ鼻東方沖 白ノ鼻灯台から真方位090° 100m付近 (概位 北緯33°25.8′ 東経133°27.8′)
インシデントの概要	プレジャーボート ^{バカラ} BAKARA23は、北進中、主機が停止し、運航不能となった。
インシデント調査の経過	平成26年12月1日、調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済み
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート BAKARA23、2.8トン
船舶番号、船舶所有者等	250-52708高知、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 雨、風向 北西、風力 3、視界 良好 海象：海上 白波、潮汐 下げ潮の初期
インシデントの経過	本船は、約18ノットの対地速力で航行中、船外機が異音を発生して停止した。 機関整備業者が船外機を点検したところ、4番シリンダの接続棒ボルトが折損し、接続棒がクランクケースを突き破ったことが判明した。
分析	本船は、船外機の4番シリンダの接続棒ボルトが折損したことから、接続棒がクランクケースを突き破り、船外機の運転ができなくなったものと考えられるが、4番シリンダの接続棒ボルトが折損するに至った状況を明らかにすることはできなかった。
原因	本インシデントは、本船が、船外機の4番シリンダの接続棒ボルトが折損したため、接続棒がクランクケースを突き破り、船外機の運転ができなくなったことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・船外機の定期整備については、取扱説明書を参考にして確実に実施すること。